

「平成26年度 病虫害発生予報第6号」の発表について

向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 水稻では、斑点米カメムシ類の発生が多くなることが予想されます。薬剤防除を実施する場合には、都道府県から発表される発生予察情報で適期を確認し、実施してください。
- ・ 果樹では、カメムシ類の飛来が多くなることが予想されます。園内の観察を行い、飛来初期からの防除に努めてください。

病虫害防除に関する留意点

- ・ 病虫害防除を効果的に実施するためには、病虫害の発生状況を的確に把握し、早期発見に努め、適期の防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ 薬剤防除を実施する場合には、適切な薬剤を選択するとともに、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。また、農薬の使用基準を遵守し、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。このことについては、農林水産省が、6月から8月にかけて、厚生労働省、環境省等と共同で実施する「農薬危害防止運動」においても注意を呼びかけています。
(参考) 平成 26 年 4 月 25 日付けプレスリリース「農薬危害防止運動」の実施について
<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/140425.html>
- ・ 台風の通過や局地的な豪雨に伴い、農作物への影響が懸念されます。台風等の強い風雨によって作物にこすれや損傷が生じたり、降雨や冠水により過湿状態や汚れが生じると病害の発生が助長されます。天候の推移に注意し、適時適切な防除を実施してください。

- ・ **イネいもち病**の発生は、東北、甲信、近畿、中国及び九州の一部地域で「多い」、北陸及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。葉いもちの発生が多く、上位葉に病斑が見られる場合は、穂いもちの発生が懸念されるので、薬剤防除を穂ばらみ期及び穂揃期の2回実施することが重要です。生育ステージにあわせて薬剤防除を実施してください。なお、穂いもちの多発が予想される場合には、穂揃期7～10日後の追加防除を実施してください。
- ・ **イネ縞葉枯病**の発生は、南関東及び東海の一部地域で「多い」と予想され、イネ縞葉枯病を媒介するヒメトビウンカの発生は東海の一部地域で「多い」、南関東、近畿及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。イネ縞葉枯病の発生抑制には、ヒメトビウンカの防除が重要となることから、都道府県が発表する発生予察情報を参考にして、特に本ウイルス保毒虫率が高い地域又は前年に本病が多発した地域においては、適期に防除を実施してください。また、発病株は早期に抜き取り、ほ場外の土中に埋める等適切に処分してください。
- ・ **イネ紋枯病**の発生は、東北及び東海の一部地域で「多い」、近畿及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。気象庁の1か月予報（平成26年8月7日発表）では、全国的に気温は平年並か高い、降雨は平年並か多いと予報されています。高温多湿はイネ紋枯病の発生を助長します。前年に本病が多発した地域においては、本年も多発する可能性があるので注意が必要です。本病は病勢が少しずつ進展することから、発生が確認され次第防除を行うことが重要です。
- ・ **トビイロウンカ**の発生は、近畿、四国及び九州の一部地域において「やや多い」と予想されます。本害虫は、本田に侵入後、急激な密度上昇により坪枯れ等の被害を起こします。本田内を注意深く観察し、水稻の株元に成虫及び幼虫を確認した場合は、都道府県から発表される発生予察情報で防除適期を確認し、防除を実施してください。なお、近年特定の薬剤に対する感受性が低下した個体が確認されているので、都道府県から発表される発生予察情報を参考に、適切な薬剤を選択してください。また、都道府県等から発表される今後の飛来情報に留意するとともに、水田での発生状況に十分注意してください。
- ・ **ニカメイガ**の発生は、北陸及び東海の一部地域で「多い」と予想されます。本害虫は局所的に多発する場合があるので、本田の観察を行い、発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **斑点米カメムシ類**の発生は、北海道、東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿及び中国の一部地域で「多い」、四国及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫の防除は、生息地となる休耕田、畦畔及び水田周辺の雑草を管理し、密度を低減させることが基本です。薬剤防除は穂揃期とその7～10日後の2回実施が標準的です。薬剤防除時期は、本害虫の種類構成が地域によって異なるので、都道府県から発表される発生予察情報で適期を確認し、薬剤防除を実施してください。

大豆

- ・ **吸実性カメムシ類**の発生は、南関東の一部地域で「多い」、北東北、北陸及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。ほ場の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

野菜・花き

露地栽培

- ・ 気温の上昇に伴い病虫害の動きも活発になるので、ほ場観察を行い病虫害の早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に防除を実施してください。

施設栽培

- ・ 気温上昇に伴い、施設を開放する機会が増えるので、ウイルス病を媒介する**アザミウマ類**、**アブラムシ類**、**コナジラミ類**等の病虫害の侵入及び野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置する等の対策を実施してください。また、雑草はこれらの害虫の発生源となりますので、施設内及び周辺の定期的な除草に努めてください。
- ・ 施設内が過湿になると病害の発生が助長されるので、施設周辺に排水路を整備して、雨水が施設内に入らないように留意するとともに、作物の株間の通風を図る等、施設内が過湿にならないように管理してください。また、病害の早期発見に努め、伝染源となる罹病葉や罹病果は除去し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ 栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、土中に埋める等確実に処分してください。

発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及び地域（露地・施設栽培）

作物名	病虫害	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
野菜共通	アブラムシ類		北東北
	タバコガ類	東北、四国	北陸
キャベツ	コナガ		北東北、甲信、南九州
	タバコガ類	東海	
さといも	アブラムシ類		南関東、北陸、東海
ねぎ	さび病		南東北
	アブラムシ類		南関東
	ネギアザミウマ	北陸、南関東、東海、近畿	北東北

いちご	炭そ病	北九州	南関東
	アブラムシ類		南関東、北九州
きゅうり	べと病		東北、近畿
	アザミウマ類	北陸	甲信、近畿
	アブラムシ類		北東北、甲信、北陸
すいか	アブラムシ類		北陸
トマト	すすかび病		北九州
	アザミウマ類	北陸	甲信
	アブラムシ類		甲信、北陸
	コナジラミ類	北陸	北九州
	タバコガ類	東海	甲信、近畿、南九州
なす	アザミウマ類	北陸	南関東、近畿
	アブラムシ類		南関東、近畿
	コナジラミ類	北陸	
	タバコガ類		近畿、四国、南九州
ピーマン	アブラムシ類		北九州
	タバコガ類		近畿
きく	白さび病	南東北	東海、近畿
	アザミウマ類	東海	南東北
	アブラムシ類	東海	甲信
	タバコガ類	東海	

注) 表中の地域については、その地域全域で発生がみられるものではありません。

- ・ **タバコガ類**は、野菜や果実に食入してからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に防除を実施してください。

果樹・茶

果樹共通

- ・ 本年は**果樹カメムシ類**の越冬量が多く新世代成虫の量が多いと考えられ、またスギやヒノキ花粉の飛散量が少なく、山林に餌となる毬果が少ないと考えられます。このため、山林から多くの果樹カメムシ類が餌をもとめて飛来してくることが予想されるので、例年、被害が多い園地や山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

■ 発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及び地域

作物名	病虫害	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
果樹共通	果樹カメムシ類	北陸、東海、近畿、中国、四国、北九州	甲信
おうとう	ハダニ類	南東北	
かき	果樹カメムシ類	東海	
	コナカイガラムシ類	東海	
	ハマキムシ類	東海	近畿
かんきつ	果樹カメムシ類	東海	
	ミカンハダニ		東海、近畿、中国、四国、九州
なし	黒星病	東北	北九州
	黒斑病		北東北、北陸、近畿
	果樹カメムシ類	南東北、東海	
	ナシヒメシンクイ	東海	南関東
	ハダニ類	北東北、東海	北陸、北九州
ぶどう	べと病	北東北	
	ハマキムシ類		近畿
もも	せん孔細菌病		甲信
	ナシヒメシンクイ		東海
	ハダニ類		南東北
りんご	果樹カメムシ類		北東北
	ナシヒメシンクイ		東海
	ハダニ類	東北	
茶	カンザワハダニ		九州
	チャノコカクモンハマキ	近畿	南関東、東海
	チャノホソガ		北九州

注) 表中の地域については、その地域全域で発生がみられるものではありません。

かき

- ・ **ハマキムシ類**の防除は、成虫発生最盛日の7～10日後が適期です。都府県が発表する地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況を参考に、防除を実施してください。

かんきつ

- ・ **ミカンハダニ**は、夏季に増殖するカブリダニ類、ハダニアザミウマ、ケシハネカクシ類等の有用な土着天敵により、密度が下がりますが、気温が高く雨が非常に少ない天候が長く続いた場合は、本害虫の発生が助長されますので、園内の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

キウイフルーツ

- ・ 本年5月以降、**キウイフルーツかいよう病**の新系統（Psa3系統）の発生が確認され、7県で特殊報が発表されています。本病のまん延防止を目的として、発生調査や防除措置等の当面の対応を定めました。本病のまん延防止のため、早期発見・早期防除に御協力ください。

（参考）「キウイフルーツかいよう病のPsa3系統の当面の対応について」（平成26年7月18日付け26消安第2203号農林水産省消費・安全局植物防疫課長通知）

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/pdf/taiou.pdf>

なし

- ・ **黒星病**の防除は、伝染源となる発病葉及び発病枝を除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ハダニ類**は、気温が高く雨が非常に少ない天候が長く続いた場合は、本害虫の発生が助長されますので、園内の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

ぶどう

- ・ **べと病**の防除は、伝染源となる発病葉及び発病果は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続く気温が低めの時に発生しやすいので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

りんご

- ・ **ハダニ類**は、気温が高く雨が非常に少ない天候が長く続いた場合は、本害虫の発生が助長されますので、園内の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

茶

- ・ **チャノコカクモンハマキ**は、成虫発生最盛日の7～10日後が防除適期になります。地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況を参考に、防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成26年7月19日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8月7日	秋田県	水稲	斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）

注意報

警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
7月23日	青森県	水稲	斑点米カメムシ類（アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ）
7月23日	岐阜県	果樹作物（なし、かき、もも、りんご、みかん等）	果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ新世代成虫）
7月24日	山形県	水稲	斑点米カメムシ類（アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、オオトゲシラホシカメムシ）
7月24日	滋賀県	水稲	斑点米カメムシ類
7月24日	島根県	水稲	斑点米カメムシ類
7月24日	島根県	かき、なし、すもも	果樹カメムシ類

7月25日	青森県	水稲	イネいもち病（穂いもち）
7月25日	長野県	水稲	イネいもち病
7月25日	京都府	果樹全般（もも、なし、かき、かんきつ等）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ等）
7月25日	広島県	水稲（中生種）	イネいもち病（葉いもち、穂いもち）
7月28日	秋田県	水稲	イネ紋枯病
7月28日	秋田県	水稲	イネいもち病（穂いもち）
7月29日	茨城県	水稲	斑点米カメムシ類
7月30日	長野県	水稲	斑点米カメムシ類
7月30日	岡山県	水稲	イネいもち病（葉いもち、穂いもち）
7月31日	岩手県	水稲	斑点米カメムシ類
7月31日	福島県	なし	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）
7月31日	大阪府	水稲	イネいもち病（葉いもち、穂いもち）
7月31日	鳥取県	水稲	斑点米カメムシ類
7月31日	佐賀県	いちご	イチゴうどんこ病
8月1日	北海道	水稲	アカヒゲホソミドリカスミカメ
8月4日	北海道	作物全般	ヨトウガ
8月6日	佐賀県	水稲	イネいもち病（葉いもち、穂いもち）
8月6日	宮城県	水稲	斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ）
8月7日	大分県	果樹全般	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
8月7日	大分県	水稲（普通期）	イネいもち病（穂いもち）
8月8日	徳島県	野菜類、花卉類	オオタバコガ
8月8日	山口県	水稲	トビイロウンカ
8月8日	山口県	水稲	イネいもち病（穂いもち）
8月8日	福岡県	水稲	イネいもち病
8月11日	熊本県	水稲（早植え、普通期）	トビイロウンカ
8月11日	熊本県	水稲（早植え）	イネいもち病（穂いもち）

■ 特殊報

新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
7月24日	栃木県	ピーマン、ミニトマト	ピーマンえそ輪点病、トマト茎えそ病（仮称）
7月24日	栃木県	トマト	トマト葉かび病（レース 2.9、4.9、2.5.9、4.5.9）
7月30日	群馬県	なす	トビイロシワアリ
8月1日	愛媛県	いちじく	イチジクモザイク病
8月4日	佐賀県	きゅうり	ナスコナカイガラムシ
8月6日	和歌山県	きゅうり	キュウリ退緑黄化病

用語解説

地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側 10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として 40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側 10%の度数の入る幅
（平年値は過去 10 年間の平均）

■ 平成 26 年度発表予定日

第 7 号： 9 月 18 日（木曜日）

第 8 号：10 月 16 日（木曜日）

第 9 号：11 月 13 日（木曜日）

第 10 号：平成 27 年 2 月 12 日（木曜日）

（参考）これまでの発表

第 1 号： 4 月 17 日（木曜日）

第 2 号： 5 月 15 日（木曜日）

第 3 号： 6 月 19 日（木曜日）

第 4 号： 7 月 10 日（木曜日）

第 5 号： 7 月 24 日（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班 春日井、石部

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>